



# 若鳩

WAKABATO  
 発行所  
 高知県立高知小津高等学校  
 総務部・PTA事務局  
 〒780-0916  
 高知市城北町1-14  
 TEL 088-822-5270  
 FAX 088-823-6387

## 和して学び自律して歩む



校長 濱川 智明

新しい命が息吹き始め、春の暖かな日差しが降り注ぐ、卒業という門出にふさわしい穏やかな季節となりました。本日ここに、ご来賓の皆様並びに保護者等の皆様のご臨席を賜り、高知県立高知小津高等学校普通科第七十四回、理数科第五十三回の卒業証書授与式を挙行できますことは、このうえない喜びであり、ご出席の皆様には、高い席からではございますが、心から御礼を申し上げます。

ただ今、卒業証書を授与されました、普通科二百三十三名、理数科三十三名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございました。これまでの三年間、嬉しかったこと、楽しかったこと、苦しかったこと、辛かったこと、様々な思いがあつたと思います。皆さんが入学された令和二年は、入学直後より感染症による長期の休校となり、期待

していた高校生活ではなく、家庭学習という違った形でのスタートとなりました。期待よりも不安の方が大きくなつたのではないのでしょうか。また、学校が再開されても、学習、行事、部活動などが制限された、本当に厳しい学校生活であつたと思ひます。今振り返ってみても、学校という集団生活で大切なコミュニケーションの時間も少なく、毎日のように昼食時には黙食を、部活動においても、できるだけ声をひかえた練習、更衣場所でのマスクの着用などが求められ、本当に制限された、気遣いの絶えない日々であつたと思ひます。そのコミュニケーションの不足により、つらい思いをした方もいるのではないのでしょうか。

また、自己の進路実現のための学習においても頼もしい姿がありました。日々の授業や補習に対する取り組みに始まり、校外等で実施される多くの講座や事業にも自ら進んで参加し、知見を広げ、進路実現に向けた準備をする姿が多く見られました。自分を高めるための努力をしっかりと行つてくれたと思ひます。今こうして皆さんの顔を見ていますと、その成長した姿を大変うれしく思ひます。私からは、卒業生に対して、制限が多く申し訳ないという気持ちと、頑張り続けてくれたありがとうという感謝の気持ちを伝えたいと思ひます。その前向きな姿勢をこれからも持ち続けてください。同時に、皆さんの活動の支えとなつたのが、共に歩んできた同級生の様々な支援はもちろんのこと、厳しくも熱心に指導してくれた先生

卒業生の皆さん、私たち教職員は、皆さん一人ひとりの健康と活躍を心から応援しています。皆さんとの出会いに感謝するとともに、皆さんのこれから前途が幸多いものとなることを祈念し、式辞といたします。

令和五年三月一日

ぶりの開催ということもあり、体育祭の経験がないなか、先生方との協力のもと、後輩たちも支援しながら、自分たちで工夫した体育祭となりました。競技中や各テントの下で仲間と話をしている皆さんの真剣で、楽しそうな表情を見ることができ、うれしくもあり、安心もできたひと時でした。

さて、本校は来年度、創立百五十周年を迎えます。この歴史と伝統に裏付けられた本校の教育を修了した一員としての自信と誇りを持つてください。これまでに卒業した多くの先輩方、一日一日のたゆみない積み重ねが、今の本校の礎となつており、皆さんのその歴史の一つになっていきます。本校の教育方針に、「和して学び自律して歩む」という言葉があります。この言葉は、新たな世界に羽ばたいた皆さんにとっても大切な言葉になると思ひます。人工知能や情報システムの発展により、人の役割も変わりつつあります。そうした社会の大きな変化の中では、自分で適切な情報をつかみ判断し、行動する力が必要とされます。また、困ったとき、壁におつかつたときに相話し、お互い助け合ふための人と人とのつながり、すなわちコミュニケーション力が必要となります。卒業生の皆さんも、本校で学んだことを忘れずに、自分自身の選んだ道を歩んでいただ

第100号若鳩

- ・卒業式式辞
- ・卒業生に贈る言葉
- ・PTAより卒業生へのメッセージ
- ・活躍の記録
- ・SSH活動報告
- ・修学旅行
- ・皆勤賞・精勤賞
- ・学校評価アンケート
- ・読書感想文コンクール
- ・合格者数一覧

など

<http://www.kochinet.ed.jp/ozu-h/>

# 三年生 学年団 卒業生に 贈る言葉



三年学年主任  
西森 靖 芳

「ご卒業おめでとうございます。『確実なプレーこそ、ファイナルプレー』です。目の前のやらなければならぬことを、焦らず一つ一つ確実にこなしていくことが大切です。小津高校での経験を活かし、未来へ大きく羽ばたけ！」



三一一主任  
松本 玲 子

三年生の皆さん。ご卒業おめでとうございます。あなた方の入学から卒業まで関わられて、立ちの場面に立ち会えること、これ以上の喜びはありません。若鳩祭も体育祭も、修学旅行も遠足も、ホームマッチ（四回もやりませんでしたっけ？）も毎日のホームルームも授業も、受験に共に立ち向かった日々です。すべてが貴重で一回きりの、大切な一場面です。楽しかったですね。ありがとう。人生の序盤戦を終えて本戦に向かう皆さんに、饒（はなむけ）の言葉を送ります。「生き方の基準は、正しいか



三一一副主任  
渡部 若 世

正しくないかではなく、美しかどうかである。（ジャン・コクトー）」  
幸多き人生を送ってください。心から願います。

御卒業おめでとうございます。皆さんはこの三年間、小津高校で様々な出会いをされてきたことと思います。心を揺さぶる体験があったことと思います。私は心揺さぶられた出来事を言葉にして残していこうと思った時に、人類の文明が紡ぎ始められたのだと思っています。

人は「言葉」でしか考えることができません。豊かな言葉で、少しでも温かく慈しみに満ちた言葉で、これからの多くの出来事を、目の前にある事だけでなく、目に見えないものまでも捉えていってください。言葉は想像力でもあります。小津で学んだ言葉を大切にして下さい。



三一二主任  
植田 辰 子

「ご卒業おめでとうございます。とても活発・協力的なクラスで、体育祭やホームマッチの団結力は見事でした。進路実現に向けて皆さんと学び、取り組んだ日々が、昨日のことのようです。卒業後の進路は様々ですが、今まで頑張った経験は、後で必ず役に立ちます。身体に気を付けて、これからも日々邁進してください。応援しています。」



三一二副主任  
羽方 さおり

二ホームの皆さんとは二年間とともに過ごすことができ、とても幸せです。コロナ禍という制約の下、思い描いていた青春とは少し違っていたであろう高校生活を、それでも精いっぱい楽しむ皆さんの姿が、今でも鮮やかに思い浮かびます。卒業生の皆さん、どうか「喜怒哀楽」を楽しんでください。心動くことにたくさん出会える人生は、きっと皆さんの未来を豊かにしてくれると思います。皆さんの人生に幸多かれと祈っています。そしていつか、大人になった皆さんに会いたいです。



三一三主任  
有藤 晴 菜

「ご卒業おめでとうございます。クイズゲームやフルーツバスケットなど工夫を凝らした遊びで盛り上がったクラスです。唯一の心残りは、みなさんと一緒にスキーに行けなかったことです。様々な制限によって期待していた学校生活とは大分違っていたこともあったでしょう。しかし、創造力をもって現状を打開してきた姿を見て、多くの勇気ももらいました。これからが本当のスタート。焦らず、根気よく人生を歩んでください。ひとりひとりが自分色の花をいつか、どこかで咲かせてください。身体に気を付けて、嬉しい近況を楽しみにしています。」



三一三副主任  
梅原 智 也

「ご卒業おめでとうございます。コロナの影響で思うように活動ができず、もどかしい思いや悔しい思いをしてきたと思います。我慢を強いられる中でも前向きに学校生活を送る皆さんの姿には本当に感心しました。高校卒業後は、自分の将来についてすべて自分で判断し、自分で決めることになりました。大きな決断には大きな壁もつきものです。そんな時はぜひ小津高校で培った学ぶ力を生かして行ってください。最後に、高校で出会った仲間をずっと大切にしていってください。皆さんの築き上げていく明るい未来に期待しています。」



三一四主任  
門田 賢 拓

皆と過ごしたこの三年間は今思えばあつという間でした。学校行事は全力で楽しみ、受験勉強は声を掛け合い、最後まで諦めずに取り組む。周りを思いやり行動することができると皆と過ごせた日々は私の人生の宝物になりました。ありがとう。私が大切にしている言葉の中に「縁」という言葉があります。これからは今まで以上に様々な出会いや別れを繰り返していきます。けれども、そのすべての出会いが自分を成長させてくれます。これまでの、そしてこれからの「縁」を大切にしてください。卒業おめでとうございます。これからも応援しています。」



三一四副主任  
村田 静 枝

「ご卒業おめでとうございます。皆さんとは倫理の授業を通して、様々な思想について一緒に考えましたね。カントやヘーゲル、実存主義の思想家に、西田幾多郎！：難解な思想には共に苦労しました。」

心に残っている言葉はありますか？授業風景とともに、思い浮かぶのはソクラテスの言葉です。「大切にしなければならぬことは、ただ生きるということではなく、善く生きるということなのだ」皆さんにとって大切なことは何でしょうか。迷い悩むことがあっても、よく考え、柔らかな心をもって自分の人生を歩んで欲しいと願っています。」



三一五主任  
森内 恭 平

「ご卒業おめでとうございます。二年間、五日の担任をさせて頂きました。毎日新鮮であったか楽しい時間を過ごすことができました。また、卒業生の全員と一緒に世界史の授業をできたことを本当にうれしく思っています。楽しい授業をありがとうございました。さて、皆さんは高校入学当初からコロナウイルスによって振り回されてきた「コロナ世代」です。様々な制限の中、思いもよらない力を発揮し、夢や目標に向かって努力してきたエネルギーが、どの世代にも負けることはありません。自分たちの能力の限界を「超」えて、それぞれの「路（みち）」を「成」

し遂げられる、「超路成(ゴロナ)世代」として、強く生き抜いていってください。



三一五副主任  
三宮 奈三

ご卒業おめでとうございます。五ホームは、静かなクラスという第一印象でしたが、行事等を通して、皆さんの優しさや、ユニークで楽しい人柄にふれることができました。一年間でしたが、皆さんとの楽しい日々に感謝です。高校生活は決して楽しいだけのものではなかったと思います。心と身体の健康を大切に、夢や目標に向かって自分らしく歩んでください。



三一六主任  
濱田 宏美

今日という門出の日を迎えた皆の目に映っている景色は、どのようなものでしょうか。

皆さんと同じ三年前に小津高校にやって来て、同じ学年で卒業まで見届けることができ、とても感慨深いです。しんどいことも不安なことも楽しいこともありましたね。皆が進んできた自分の道は、同じ場所でも同じ時間を過ごしていたように感じても、一人ひとり違うあなただけの人生という道です。

これからまた、新たな旅が始まります。たくさんの人やものに出会い、いろんな景色を目に映し、それぞれの道を精一杯生

きて、切り拓いてください。よい旅を!



三一六副主任  
廣瀬 敏行

ご卒業おめでとうございます。今年度、NHKで超・進化論という番組をみました。そこでは植物に関して最近わかってきたことを紹介していました。それまで光を取り合っていた生存競争をしていると思われていた森の木々が、実は根と菌のネットワークで光合成できない木に、栄養を受け渡しているという内容でした。コロナ禍でマスクの三年間、悩むこともあったと思いますが、みんなの努力があり、一緒にホームマッチ、体育祭、文化祭を楽しみました。ありがとうございます。努力で見えてくる未来・世界があります。それは明るいです。



三一七主任  
山崎 功子

ご卒業おめでとうございます。三年間マスクをはずせないまま卒業を迎えることは残念ですが、コロナ禍の中でも充実した生活にしよう頑張っている皆さんの姿は輝いていました。三一七の皆さんは、小津高校理数科で学んだことを誇りに思ってください。個性豊かなメンバーと過ごせて毎日楽しかったです。このような時代だからこそ、真を見極め、人とかかわりを大切にし、創意工夫によって前進できる人になれると思います。We can make the world a better place! ずっと応援しています。



三一七副主任  
堀内 美千子

ご卒業おめでとうございます。マスク姿で入学し、マスク姿で卒業してゆく卒業生の皆さんには特別な思いがあります。高校生活のさまざまな場面で我慢することも多かったと思いますが、弱音も吐かず、目の前の現実を淡々と受け止め、努力する姿は立派でした。小津高校で過ごした三年間を糧にして、自分の心で感じたことを大切にしながら、前を向いて進んでください。卒業生の皆さんのご健康とご活躍を心より応援しています。



三一七副主任  
池 孝文

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。卒業後は特に隣の芝生は青く見えると思います。人は人、自分は自分です。これから先、常に「今」が一番若く活発なときですので、自分の個性を大切にやりたい事にどんな挑戦をしようと思っています。



三年団  
池田 数人

三年生の皆さん。ご卒業おめでとうございます。

小津高校へ入学してきたときに思い描いた高校生活をおくることはできましたか。我慢しなければいけないことが多い3年間でしたが、いろんな場面で仲間と協力し、努力する皆さんの姿を見て頼もしく感じたことを覚えています。これから新しい場所での生活が始まりますが、どんな道を選んだとしても自分で選んだ道ならば間違いはありません。信じて進んでください。応援しています。



三年団  
山本 史子

ご卒業おめでとうございます。皆さんが小津高校で過ごした三年間は、これまでの日常が覆っていくような日々でした。日本国民の大半が残念な思いや悲しい思いをしています。そんな中でも自分たちのできることから前向きに取り組んでいく姿に、閉塞感の中にも希望はあり、そこに活路は見いだせるのだと教えられた気がします。



三年団  
和田 真由美

これから大きな可能性を秘めて新たな道へ進んでいくことになりませんが、四月から急に楽しくバラ色な日々が待っているわけではありません。大学に入ればかなりのみなさんの先輩には「大学はもっと楽しいと思っていた」

と口にする人もいます。そんなのです。楽しくバラ色の日々は自分で積み上げていくものなのです。地道に努力を重ねること、自分の居場所ができ、武器をたくさん持ち、自信をつけていくのです。そして、自分自身が輝ける場を見つけるのです。自分自身で自分の可能性を広げて、日々成長していかってください。そして、健康に留意して、また元気な姿を見せてください。



三年団  
大崎 祥弘

「若い時の苦労は買ってでもせよ」とよく言いますが、何かを成し遂げる上で、苦労をすることを恐れずにやれば、仮に結果が出なかったとしても、必ず何らかの形で自分の将来に良い方向にはたらくと思います。何事にも積極的にチャレンジしていきましょう。卒業生のみさんのこれからの人生に幸多からんことを願っています。頑張ってください。



三年団  
小笠原 剛

卒業おめでとうございます。高校三年間の努力は、君たちを強くしてくれました。卒業は、君たちの夢のスタート、ゆっくりそしてしっかりと足を踏み込み前に進んでください。自信を持って突き進め。

# PTAより 卒業生への メッセージ

【息子へ】

卒業おめでとう。あつという間の三年間。コロナに振り回され、中止になった行事もたくさんあったけど、それでも思い出はたくさんできましたね。部活も、三年間頑張りました。思い通りにはいかなかったかもしれないけど、投げ出さず最後まで続けたことは、これからの人生に大切なことの一つだと思います。感謝の気持ちを忘れず、夢に向かって頑張れ！

母より

【娘へ】

卒業おめでとう！高校生活の中で、あなたが選択肢を選ぶ時、必ず難しい道を選択してきました。理型を選んだ時は苦労すると思いましたが、理型だったからこそ出会えた最高のクラスメイトたちがいます。苦手な化学との闘いは大学入学共通テストまで続きましたが、最後まで逃げずに頑張り、結果に繋がりましたね。教科以外の苦手な分野にも挑戦し、成長しようと努力していました。不器用ながらも三年間頑張り続けたあなたを誇りに思います。

母より

【三年間頑張った息子へ】

入学式を終え、自宅に帰っているときに入った休校の知らせ。衝撃の高校生活の幕開けでした。この三年間は本来の高校生が経験すべきことができなかったと思います。それでも、素晴らしい仲間愛のある部活動メンバー、休日も熱心にご指導くださった顧問の先生、ホームの先生方に支えられ、充実した高校生活となりましたね。片道一時間半の学校までを始発に乗り、片夜遅く帰ってくる毎日を「しんどい」と口にせず、通い抜いたことは親としても偉かったなあと頭が下がります。そして、勉強と部活動の両立のみならず、ホームマツチや体育祭でみんなと協力しながらリーダーで頑張ったこと。楽しいかけがえのない思い出ができたと共にどんな成長していき我が子に逞しさや頼もしさを感じたことです。この三年間の頑張りや、大学生活、その後の人生にあなたのチカラになってくれること間違いなしです！これから始まる新しいステージを自分らしく歩んでいってください。

母より

【娘へ】

小さい頃から兄妹の中でも人一倍しっかり者で、どんな時でも真面目に勉強に学校生活に取り組んでいる姿は、本当に頼もしい限りでした。将来どうするのか、少し道に迷った時もあったかもしれないけど、きつと自分の気持ちに正直に努力をするであろうと信じていたから、最後の最後に大きな決断をして進学を決めたときは、お父さんと全力で応援しようと思っていました。至らない親にきつと腹立てたりしながらも、三年間よく頑張ってくれたなあ。親として本当にあなたの存在には感謝しています。お友達にも先生にも恵まれて、三年間小津高校で頑張られて本当に良かったね。これからはあなたの人生に向かってますますまっすぐにまっすぐに突き進んで行ってください。家族はいつでもいつまでもあなたの応援団、味方です。心からエールを送ります。卒業おめでとう。

母より

【息子へ】

入学早々自宅待機という不安なスタートから始まり、あらゆる行事が自粛や縮小を余儀なくされた中でも、君は高校生活を全力で楽しみ、大切な仲間とも出会いました。特に二年生の県体で三年生に交じってチームの躍進に貢献した姿は、入場制限がかかった会場の外からでも一際大きく頼もしく見え、お母さんと成長を喜んだものです。卒業おめでとう。君の友達やおばあちゃんを想う優しい心がこれからの人生の追い風になりますように。

父より

【娘へ】

寂しがり屋で何事にも慎重過ぎるあなたは、一人で飛び立つことに不安で自信が持てないだろうけど、でももう大丈夫。この三年間この小津高校でたくさんの人と出逢い切磋琢磨し、成長してきたから。大丈夫、怖れないで、いつでも羽を休めに帰って来る場所はあるから。さあ今こそ勇気を出して羽ばたいて行け！あなたのことを心から応援しているから。

母より

【息子へ】

ようやく授かったあなたに、その葉の形状から難を除けるとされる木を名に持たせた日が、ついこの間のように思えます。あなたの母として、お母さんと呼ばれた時間は幸福でした。巣立ちを喜ばなくてはいけないのに、この頃さみしくなりません。これから出会う人々が、あなたを大切にしてくれますように。あなたにとって大切な出会いが、たくさんありますように。ひいらぎに見守られて、あなたが幸福でありますように。

母より

【息子へ】

卒業おめでとう。入学してすぐに休校になり、なかなかクラスに馴染めず暗い表情の君のことが心配でした。時間がたつにつれて友達が増えていき、学校での出来事や行事の写真について楽しそうに語る姿に安堵しました。息子と仲良くしてくれたお友達にも感謝しています。君は、小学生の頃からずっと良い友達に恵まれて過ごしてきたと思います。これからの人生でも素敵な仲間と出会えますように。心から祈っています。

母より

【息子へ】

ご卒業おめでとうございます。思えばここまで自分で決めた目標に向かい、一步一步頑張っていたあなたの姿を思い出します。高校生活は感染対策の毎日だったため、思うような学校生活や部活・行事なども行えない状況でしたが、そんな中でも色々な人との出会いや学びもあつた事だと思えます。春からは親元を離れ、また新たな一步をふみ出しますね。その一步は、喜びでもあり楽しみでもありますが、時には困難な事や気が沈む出来事もあるかもしれません。そんな時にはいつでも母を家族を頼ってくださいね。いつでもアシストします！これからも人生楽しんでください。

母より

【娘へ】

卒業の時が来ました。高校生活はどうでしたか。学校での出来事を話しながらあなただったの、よくやっているのか分からず心配でした。そんな中、部活と体育祭の看板づくりは、チャレンジしたことが後で分かってく安心しました。家では「早寝早起き朝ご飯」ができていない事があり、その時は心配します。どうか良い生活習慣が身につきますように。次のステップでも小津で学んだ事を土台にして精進して下さい。あなたの成長を楽しみにしています。

母より

【息子へ】

あつという間の三年間。高校生活はどうでしたか？田舎の小さな学校から覚悟を決め一人で入学したマンモス校でしたが、コロナ感染症の為スムーズに学校が始まらず馴染むのに少し手こずりましたね。今ではその事を忘れるぐらい友達に囲まれ笑っている顔が浮かびます。部活に勉強とハードな中でも頑張り抜けたのは周りの人達のお陰です。先生をはじめ部活メンバー、友達に本当に恵まれましたね。その事への感謝を忘れず次のステップへ進んで下さい。三年間よく頑張った。卒業おめでとう！

母より

【息子へ】

卒業おめでとう。三年前の春、コロナ禍での入学式の後、普通の登校もままならない中で高校生活のスタートでした。三十km以上の道のりを自転車通学する事も多々ありましたね。良い事も悪い事も、楽しかった事も、苦しかった事も、色々ありました。この三年間、素敵な仲間にも恵まれて、いろんな事にチャレンジし、たくさん経験を重ねて、充実した高校生活過ごせましたね。大学へ進学し、自分自身の取り組みたい学習に邁進して下さい。そして未来へ向かって飛び立って下さい。応援しています。

父、母より



【息子へ】

桜の木の下で写真を撮った入学式の日をとても懐かしく感じます。あつという間の三年間でした。小津高校への進学も部活も自分で決めて、そして今、自分で決めた道へ受験を控え頑張っているあなたをとても頼もしく感じています。

これから先の人生、悩むことや辛いことがたくさんあると思いますが、あなたならきっと大丈夫！将来の夢に向かって色々なことに挑戦して楽しんで下さい。ずつと応援しています。

ラーメンマンより変わった母より

【息子へ】

卒業おめでとうございます。知り合いのほとんどいない学校への入学でした。その中、部活や同級生の仲間、担任の先生をはじめ先生方に支えられ、卒業を迎えられたこと、うれしく思います。コロナ禍の中で色々制限もありました。同級生との関係で窮屈に感じる事もあったでしょう。修学旅行に行けなかったのも大変残念でした。そんなこんなを乗り越え、ここまで成長できたのは、ご縁をいただいた皆さんのおかげです。

感謝の心を胸に、次への一步、自信を持って踏み出してください。

母より

# 活躍の記録

## 〈地学部〉

◆高知県高等学校総合文化祭  
第6回自然科学部門発表会  
最優秀賞

- 笹岡大次郎 (2-7 H)
- 氏原 慶大 (1-2 H)
- 中野 裕斗 (1-7 H)
- 前田 佳杜 (1-7 H)
- ※第47回全国高等学校総合文  
化祭鹿児島大会自然科学  
部門ポスター発表部門に  
出場

## 〈書道部〉

◆第46回全国高等学校総合文  
化祭書道部門  
奨励賞

- 川下 陽菜 (3-5 H)
- ◆第45回高知県高等学校総合  
文化祭書道部門・第45回高  
校書道展  
奨励賞
- 保木 円香 (2-1 H)
- ※第47回全国高等学校総合文  
化祭鹿児島大会に出場
- 石川 結理 (2-2 H)
- ※第47回全国高等学校総合文  
化祭鹿児島大会に出場
- 保木 萌 (2-2 H)
- ※第47回全国高等学校総合文  
化祭鹿児島大会に出場
- 高橋 瑞奈 (2-3 H)
- 古澤 朱夏 (2-5 H)
- ◆第31回国際高校生選抜書展  
秀作賞
- 保木 円香 (2-1 H)
- 石川 結理 (2-2 H)
- 入選
- 川下 陽菜 (3-5 H)
- 北村 芽生 (2-2 H)

◆第74回全国学生書道展  
○半紙の部  
準大賞

- 石川 結理 (2-2 H)
- (公財)書道芸術院理事長賞
- 古澤 朱夏 (2-5 H)
- 全国学生書道展優秀賞
- 保木 円香 (2-1 H)
- 保木 萌 (2-2 H)
- 高橋 瑞奈 (2-3 H)
- 石元 萌愛 (2-5 H)
- 半切1/2の部  
全国学生書道展優秀賞
- 保木 円香 (2-1 H)
- 団体賞
- 全国優秀  
S-1グランプリ
- ◆第17回全国高校生〈書道〉  
S-1グランプリ  
グランプリ
- 保木 円香 (2-1 H)
- 準グランプリ
- 石川 結理 (2-2 H)
- まほろば賞
- 古澤 朱夏 (2-5 H)
- ◆第27回全日本高等学校書道  
コンクール  
準大賞
- 古澤 朱夏 (2-5 H)
- 全日本高等学校書道教育研  
究会賞
- 保木 円香 (2-1 H)
- 保木 萌 (2-2 H)
- 高橋 瑞奈 (2-3 H)
- 石元 萌愛 (2-5 H)
- 団体賞  
優良校

- 保木 萌 (2-2 H)
- 古澤 朱夏 (2-5 H)
- 池澤 未唯 (1-3 H)
- 団体賞
- 四国地区優秀賞

## 〈美術部〉・美術I授業選択生

◆第67回高知県高校美術展  
○立体の部共同制作  
最優秀賞

- 小松 真子 (1-1 H)
- 長谷田佳香 (1-1 H)
- 和田 朋愛 (1-1 H)
- 安岡 彩衣 (1-3 H)
- 渡邊 栞 (1-3 H)
- 面村 夏穂 (1-4 H)
- 野中 美里 (1-4 H)
- 山崎 蒼彩 (1-4 H)
- 藤尾 明穂 (1-6 H)
- 篠原 虎珀 (1-7 H)
- ◆第45回高知県高等学校総合  
文化祭  
○ポスター・チラシ部門  
最優秀賞
- 山崎 蒼彩 (1-4 H)
- 優秀賞
- 安岡 彩衣 (1-3 H)
- 佳作
- 坂田 葵 (1-4 H)
- ◆令和4年度南海トラフ地震  
に備えよう!啓発ポスター・  
標語コンクール  
○ポスター部門  
最優秀賞
- 篠原 虎珀 (1-7 H)
- 優秀賞
- 大川ちひろ (1-1 H)
- 佳作
- 平田隆之介 (1-1 H)
- 橋田 苺愛 (1-3 H)
- 生田 眞裕 (1-4 H)
- ◆令和4年度高知県犯罪のな  
い安心安全まちづくりポス  
ターの募集
- 中学・高校生の部  
優秀賞
- 山中 綾音 (1-4 H)
- 山中 琴音 (1-1 H)

## 〈放送部〉

◆第31回高知県高等学校秋季  
放送コンテスト  
○朗読部門  
第2位

- 飯沼 大智 (1-4 H)

## 〈フオークソング部〉

◆第10回高知県高等学校軽音  
楽発表会  
優秀賞

- 小松 珠希 (2-1 H)
- 山崎 菜音 (2-1 H)
- 西村 悠陽 (2-2 H)
- 審査員特別賞
- Take no break
- 西森 大起 (2-1 H)
- 濱口 優那 (2-1 H)
- 西村 悠陽 (2-2 H)
- ◆第24回高知県高等学校軽音  
楽演奏会軽音楽  
優秀賞
- ヒトエ
- 小松 珠希 (2-1 H)
- 山崎 菜音 (2-1 H)
- 西村 悠陽 (2-2 H)
- 審査員特別賞
- Take no break
- 西森 大起 (2-1 H)
- 濱口 優那 (2-1 H)
- 西村 悠陽 (2-2 H)

## 銀賞

- 北川 侑利 (3-6 H)
- 濱田ことね (1-2 H)
- 辻 愛未 (1-3 H)
- 笹 朝晴 (3-6 H)
- 下村ひなき (2-4 H)
- 中村 水優 (1-3 H)

## 〈写真部〉

◆令和4年度高知県高等学校  
総合文化祭写真部門第42回  
高知県高等学校写真展  
優秀賞

- 増井虎汰郎 (2-1 H)
- ※第47回全国高等学校総合文  
化祭鹿児島大会に出場  
奨励賞
- 植村 優人 (2-6 H)



## 〈図書部〉

◆第26回高知県高等学校新聞  
コンクール  
○特別部門  
最優秀賞

- 溝渕 優菜 (3-1 H)
- 矢野 ふみ (3-1 H)
- 高木 智弘 (3-3 H)
- 岡崎 史佳 (3-5 H)
- 曾根 龍翔 (3-6 H)
- 長井こと美 (3-6 H)
- 前田 萌 (2-1 H)
- 伊東 沙起 (2-3 H)
- 岡林陽奈保 (1-1 H)
- 春日このみ (1-3 H)
- 下村 知輝 (1-3 H)

## 〈吹奏楽部〉

◆第46回全日本アンサンブル  
コンテスト高知県大会  
○高等学校部門管打楽器七重  
奏

- 小松 珠希 (2-1 H)
- 山崎 菜音 (2-1 H)
- 西村 悠陽 (2-2 H)
- ◆第1回全国高等学校軽音楽  
発表会  
出場
- ヒトエ
- 小松 珠希 (2-1 H)
- 山崎 菜音 (2-1 H)
- 西村 悠陽 (2-2 H)

〔将棋囲碁〕

◆第31回全国高等学校文化連盟将棋新人大会高知県予選  
○女子個人戦  
女子第1代表

岡村 彩絢 (1-7 H)  
◆第53回高知県学生将棋選手権  
○女子の部  
優勝

岡村 彩絢 (1-7 H)  
◆第19回四国地区高等学校文化連盟将棋選手権大会  
○男子個人戦  
出場

太内 秀洋 (1-7 H)  
○女子個人戦  
出場

岡村 彩絢 (1-7 H)  
○男子県対抗団体戦  
第3位  
太内 秀洋 (1-7 H)

〔新聞部〕

◆第26回高知県高等学校新聞コンクール  
学校新聞部門 優良賞

鍵山 悠里 (2-1 H)  
西内 琴音 (2-1 H)  
和田 拓真 (2-3 H)  
種田 翼 (2-4 H)  
大原稜 一朗 (1-2 H)  
立花 輝良 (1-2 H)  
※第47回全国高等学校総合文化祭鹿児島大会に出場

〔男子バスケットボール部〕

◆令和4年度高知県高等学校バスケットボール秋季選手権大会  
ベスト8  
甲藤 慶丈 (2-2 H)  
田所 陽 (2-2 H)  
畑中 悠希 (2-2 H)  
山本みるき (2-2 H)  
大西 優羽 (2-4 H)

氏原 聖也 (2-6 H)  
岡林 佑星 (2-6 H)  
山口 賢晟 (2-6 H)  
伊豆田京介 (2-7 H)  
井上匠太郎 (1-1 H)  
甲斐凛太郎 (1-1 H)  
宮尾 颯翔 (1-1 H)  
石川 舜也 (1-3 H)  
溝口 侑弥 (1-4 H)  
山本 悠稀 (1-5 H)  
小原 行勝 (1-6 H)  
埴田 琉希 (1-7 H)

〔女子バスケットボール部〕

◆令和4年度高知県高等学校バスケットボール秋季選手権大会  
ベスト8  
田原 花 (2-2 H)  
津野 小桜 (2-3 H)  
吉本 奏音 (2-3 H)  
松下 來未 (2-4 H)  
堀内十和子 (2-5 H)  
小井手羽希 (1-2 H)  
田中 亜子 (1-2 H)  
福原由衣花 (1-2 H)  
松井 凛 (1-2 H)  
笹岡 日向 (1-4 H)  
中平 衣莉 (1-6 H)  
西 音羽 (1-6 H)

◆令和4年度高知県高等学校バスケットボール冬季選手権大会  
ベスト8  
田原 花 (2-2 H)  
津野 小桜 (2-3 H)  
吉本 奏音 (2-3 H)  
松下 來未 (2-4 H)  
堀内十和子 (2-5 H)  
小井手羽希 (1-2 H)  
田中 亜子 (1-2 H)  
松井 凛 (1-2 H)  
笹岡 日向 (1-4 H)  
中平 衣莉 (1-6 H)  
西 音羽 (1-6 H)

〔卓球部〕

◆令和4年度高知県高等学校冬季卓球選手権大会(新人戦)  
○男子団体  
第2位

濱田 尚人 (2-1 H)  
吉岡 優 (2-3 H)  
田淵 圭真 (2-5 H)  
山崎 太紘 (2-5 H)  
武内 颯音 (2-6 H)  
門脇 永十 (1-1 H)  
嶋崎 一颯 (1-6 H)  
○男子シングルス  
第1位

濱田 尚人 (2-1 H)  
◆日本トリム杯第35回高知オープン卓球選手権大会  
○男子シングルス  
第3位

濱田 尚人 (2-1 H)  
◆令和4年度全国高体連卓球専門部冬季合宿兼海外遠征二次選考会  
○男子シングルス  
第16位  
濱田 尚人 (2-1 H)



〔サッカー部〕

◆第101回全国高校サッカー選手権大会高知県大会  
ベスト8  
岡本 一希 (2-1 H)  
西出 明樹 (2-1 H)  
西原 勇太 (2-1 H)  
山本 悠人 (2-1 H)  
木場 俊志 (2-2 H)

河崎 匠映 (2-3 H)  
高嶋 巧 (2-3 H)  
富田龍之介 (2-3 H)  
前田 真蔵 (2-3 H)  
山本 憧 (2-3 H)  
岡 健太 (2-4 H)  
田内琥南武 (2-4 H)  
和下隆典 (2-4 H)  
齋田 海里 (2-5 H)  
瀧田 純 (2-5 H)  
濱田 秀哉 (2-5 H)  
森国 勇大 (2-5 H)  
和田 希成 (2-5 H)  
高橋 慶 (2-6 H)  
富久山健太 (2-6 H)  
別府 仁成 (2-6 H)  
久岡 叶汰 (2-7 H)  
武内 智貴 (1-1 H)  
一色 真慧 (1-2 H)  
猪野 豊 (1-3 H)  
金田 豊樹 (1-3 H)  
三代木宗恒 (1-3 H)  
横谷 隼人 (1-3 H)  
笹原 颯斗 (1-4 H)  
山本 湜太 (1-5 H)

今西章生汰 (2-1 H)  
小笠原晴香 (2-3 H)  
松田 眞飛 (2-3 H)  
宮本 麻妃 (2-3 H)  
窪内 柚奈 (2-4 H)  
鳥越 心 (2-4 H)  
矢野 孜門 (2-5 H)  
鮫島 優太 (2-6 H)  
樽井 祥 (2-6 H)  
中村 亮太 (2-6 H)  
林 和治 (2-7 H)  
上田 雷馬 (1-4 H)  
大川 元太 (1-6 H)  
示野 翔太 (1-7 H)

富久山健太 (2-6 H)  
別府 仁成 (2-6 H)  
久岡 叶汰 (2-7 H)  
武内 智貴 (1-1 H)  
一色 真慧 (1-2 H)  
猪野 豊 (1-3 H)  
金田 豊樹 (1-3 H)  
三代木宗恒 (1-3 H)  
横谷 隼人 (1-3 H)  
笹原 颯斗 (1-4 H)  
山本 湜太 (1-5 H)

◆第18回四国高等学校選抜ソフトテニス大会  
○男子個人戦  
出場  
二俣 朔也 (2-4 H)  
高畑 湊 (2-7 H)  
◆第18回四国高等学校選抜ソフトテニス大会  
○男子個人戦  
第3位  
二俣 朔也 (2-4 H)  
高畑 湊 (2-7 H)

◆令和4年度高知県高等学校ソフトテニス冬季大会  
○男子個人戦  
第3位

◆令和4年度高知県高等学校ハンドボール冬季大会  
○男子  
第3位

二俣 朔也 (2-4 H)  
高畑 湊 (2-7 H)

〔フェンシング〕

◆第47回全国高等学校選抜フェンシング大会 四国地区予選会  
○男子エペ団体  
第2位

尾崎 史龍 (2-5 H)  
尾崎 羽空 (2-5 H)  
尾崎 勇飛 (2-6 H)  
◆第47回全国高等学校選抜フェンシング大会(長崎) 出場  
尾崎 史龍 (2-5 H)  
尾崎 羽空 (2-5 H)  
尾崎 勇飛 (2-6 H)

令和4年度高知県児童生徒徒表彰

○芸術部門(書道)  
保木 円香 (2-1 H)  
石川 結理 (2-2 H)  
大地ちひろ (3-4 H)  
川下 陽菜 (3-5 H)



**令和四年度SSH活動の概要**

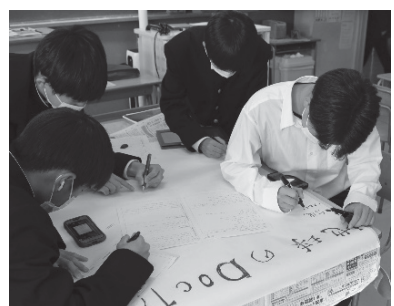
第四期SSH経過措置一年目となる令和四年度も、もうすぐ終わろうとしています。これまでのSSH活動を担う次世代の人材育成を目指して探究活動に取り組んできました。

今号では、十一月以降に普通科・理数科で取り組んだ「課題発見力・課題解決力・協働する力・表現する力」の育成に向けたSSH活動についてご紹介いたします。

**SSH課題研究活動の様子**

**◆普通科一年生**

総合的な探究の時間  
 ○「地域フィールドワーク」  
 十一月二十五日(金)に、「地域フィールドワーク」を実施しました。普通科一年生が七つの分野(①ものづくり系、②地球科学・環境・エネルギー系、③農林・水産系、④流通・経済・マーケット系、⑤医療・衛生・福祉系、⑥まちづくり・観光系、⑦ものしらべ系)に分かれ、高知県内の企業等を訪問し、講演や見学等を通して、企業の特徴や強み、高知県の地域課題解決に向けた取り組みなどについて学びました。



ポスター作成中



IoT導入事例の説明を受けている様子

帰校後は、個人で振り返りを行った後、グループで意見交換や情報共有を図りました。意見がまとまったグループから、一月二十七日(金)に行うクラス発表会に向けて、ポスター作成に取り掛かりました。

分かれ、高知県内の企業等を訪問し、講演や見学等を通して、企業の特徴や強み、高知県の地域課題解決に向けた取り組みなどについて学びました。

**◆普通科二年生**

**総合的な探究の時間**

○「課題研究の進捗状況」  
 夏季休業中から始めたアンケート調査、インタビュー訪問、現地調査、実験等によって得たデータについて分析し、研究をさらに進めました。それらの研究結果をもとに、スライドを作成し、一月十二日(木)・十九日(木)に中間クラス発表会、二月九日(木)には各クラスの代表生徒が学年中間発表会を行いました。この発表会を通して得たことを参考に、本格的に論文作成を行う予定です。



中間クラス発表会

**◆理数科一年生 探究基礎**

○「ミニ課題研究Ⅱ」  
 二学期は、物理分野で「台車に働く摩擦力と空気抵抗の関係」について、生物分野で「DNAの抽出条件」について、地学分野で「地震波」について、数学分野で「円周率」についてミニ

課題研究に取り組み、その成果をポスターにまとめ発表を行いました。これらの取組を通して、幅広い分野の実験技能の習得や具体的な研究の進め方を学ぶことができました。



ミニ課題研究Ⅱ発表会

**◆理数科二年生 課題研究**

○「課題研究中間発表会」  
 六月の課題研究テーマ発表会以降、五領域(物理・化学三・生物三・地学一・数学一)計九グループで課題研究に取り組んできました。

課題研究中間発表会では、実験活動等で得られた成果や研究の進捗状況を発表しました。この発表会での評価・助言等を参考に、年度末に向けてさらに研究を進めていく予定です。

**●「ONUサイエンス」**

◆理数科二年生  
 ○ZUサイエンス地学  
 「化石を調べる」  
 十一月十七日(木)及び一月

十二日(木)に、石灰岩・チャイトに含まれる化石の観察と植物化石の模擬採集を行いました。石灰岩については、はじめ肉眼では模様のようには見えなかったフズリナ化石(有孔虫のなかま)を拡大鏡で小豆ぐらいの大きさまで拡大して観察することで、複雑な立体構造を持つていることを確認しました。チャイトについては、拡大鏡で0.2ミリほどの大きさをもつ球形の放射虫(ケイ質の殻をもつ動物プランクトン)を多数確認しました。「植物化石の模擬採集」で扱った泥岩は、栃木県北部塩原にあった湖に数十万年前に堆積したものです。泥岩は比較的柔らかく、軽くたいて割ることができ、高確率で植物化石を取り出すことができます。化石が出てきた時には、喜びと化石の美しさをみんなで共有しました。



植物化石の模擬採集の様子



この日、岩石や化石を観察することを通し、さまざまな生物がどのような環境で生きていたか考えたり、化石同定（植物の種類を決める）では生徒たちで話し合ったりと、主体的な活動ができました。

◆「サイエンスセミナー」

◆理数科二年生

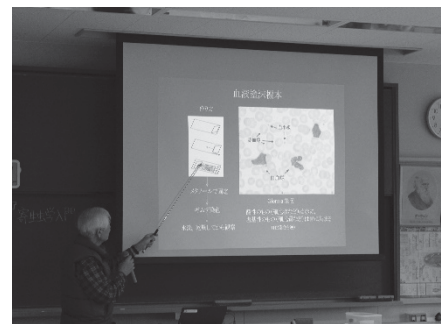
サイエンスセミナー生物

○「寄生虫学入門」

十一月十一日(金)に生物選択生徒を対象としたサイエンスセミナーを実施しました。寄生虫学が専門の熊沢秀雄先生(本校出身)に講義していただきました。

講義では、人体寄生虫のマラリアや住血吸虫、エキノコッカスなどの生活史や進化論と寄生虫の関係を学びました。また、「生態系の食物連鎖において、寄生生物は重要な役割を担っている」「生物に性が存在する(多様な子孫を作る)のは、寄生生物に対処する必要があるから」など進化論と寄生虫について学びました。さらに自宅で飼育している原生生物などを顕微鏡で観察しました。

普段は、気にしていない寄生生物に関心を向ける貴重な機会となりました。



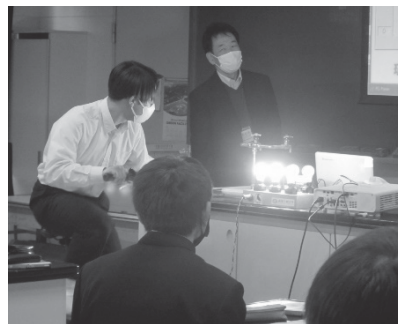
◆理数科二年生  
サイエンスセミナー物理

○「地球を救う  
エレクトロニクス」

一月十二日(木)に理数科2年生の物理・地学選択生徒を対象にサイエンスセミナーを行いました。高知工科大学システム工学群の八田章光教授を講師に、「地球を救うエレクトロニクス」という演題でエネルギー問題に関する講義をしていただきました。

最新の研究内容、研究成果などについて幅広く紹介があり、その中で人工太陽などエネルギー問題に関する研究の説明がありました。現在の地球の課題や、持続可能な社会を創るために何をすべきかを投げかけ、エネルギー問題を考える機会となりました。さらに、自転車を使用しての人力発電を体験し、発電をすること

の難しさや今後のエネルギー確保についての技術開発の大変さ、重要性などを体感することができました。また、大学では様々な分野を融合した研究があることを学びました。



人力発電を体験する様子

◆「短期集中体験ゼミ」

◆生命科学体験ゼミ

十二月七日(水)期末試験最終日の午後、事前学習として固体培地を作成し、学校周辺で採取した土や水に生息している微生物の培養を行いました。

十二月二十日(火)から二泊三日、高知大学物部キャンパス内の遺伝子実験施設にて「微生物の培養・観察」「事前学習で採取した微生物の同定(PCR・DNAシーケンス)」「緑色蛍光タンパク質(GFP)遺伝子の大腸菌への導入」の実習を行いました。



PCR実験の様子

生物の教科書では内容を取り扱うものの、学校では実施困難な実験・実習(大学生レベルの実験)であるため、大変貴重な体験となりました。キャンパス内の宿泊施設に泊まり込み、大学の食堂で食事をしながら、朝から晩まで、遺伝子や微生物について考える濃密な時間を過ごしました。

実験の空き時間には研究施設・研究室の見学を行ったり、研究室の学生たちと交流したりして学生生活・勉強など、幅広い話をうかがうなどしました。

◆動物解剖体験ゼミ

一月九日(月)、横倉山自然の森博物館の谷地森先生の協力のもと動物解剖体験ゼミを実施しました。

四国自然史研究センターは、様々な野生生物の研究を行っています。その一つとして、交通事故などで死亡した個体を冷凍保存し、計測データを取り、研究分析用のサンプルを採取しています。

今回はタヌキ・ノウサギ・アナグマを提供して頂き、脳や筋肉の組織・血液・外部寄生虫などをサンプル用に採取しながら、内臓諸器官の配置・形態・内部構造、筋肉の付き方や関節のつくりを観察し、死因の推定などを行いました。



解剖実験の様子

解剖時には、強烈なにおいが室内に充満しないように換気をする必要があります。したが、普段は決して見ることのない様々な器官の色や形、手触り等を注意深く観察するとともに、野生生物の解剖の目的とその意義について理解を深める機会となりました。

◆数学体験ゼミ

一月二十一日(土)本校にて高知大学教育学部の先生方をお招きして「数学体験ゼミ」を実施しました。内容は代数学・幾何学・解析学の各専門分野から「ロジスティック写像と複雑系」をテーマとした講義を、また数学的活動を伴った「アリスモゴンの数学的探究」「色付き三角形の話」「グラフの彩色数」という内容で、四名の各先生方お一人ずつから講義が聴ける大変贅沢なゼミでした。

具体的には、身の回りにある様々な現象を主に微分方程式を用いて数式化し、それを解くことよって定性的な性質を導いたり、アリスモゴンについて法則性と図形的な見方を学習したり、ある法則で並んだ三角形の最下段の色を演算に対応させて解いたり、四色問題をグラフ理論の考え方をを用いて抽象化し身の回りの現象もグラフを用いて解決したりするなど、普段の数

学の授業とは異なった視点や数学的な考え方で問題を捉えたり、体験的な活動を通して楽しんだりすることができました。一つの現象を数学化し深めていくことや身の回りの事柄を抽象化し考えることで、生徒は多面的な視点で考えること面白さを感じていました。高校生にとって数学の世界の広がりを感じたゼミになりました。



数学体験ゼミの様子

●サイエンスフィールドワーク  
◆理数科一年生  
●高知海洋コアセンター&芸西メランジュ

十一月二十五日(金)、理数科一年生は南国市にある高知大学海洋コア総合研究センターを訪問しました。この研究センターは地球深部探査船「ちきゅう」が採取した海洋コアの分析から地球規模の環境変動を研究する施設で、世界の三大コア

試料保管施設の機能も有しています。

午前中はまず研究センターのセミナー室で池原実教授から講義を受けました。その主な内容は「海洋科学掘削から探る気候変動」と題し、まず海洋科学の掘削についての目的や方法について紹介していただきました。また、海洋コアから気候変動や地球生命などの先端研究についてと探査船「ちきゅう」の四国沖での掘削の様子を動画で紹介していただきました。

次に、様々な海で採取され冷凍保存されている海洋コアや、実際に研究に使われている海洋コアなどを見学しました。午後からは、安芸郡芸西村にある「芸西メランジュ」と呼ばれる中生代白亜紀前後に堆積した地層の観察を行い、生徒たちは、色や模様、硬さ、手触りなどから岩石の種類を見分け熱心に活動しました。過去の地層を研究することで、近未来の地球環境の予測につながっていることを学び、地層や環境に関する知識・意識が高まる体験となりました。



芸西メランジュについて説明を受ける様子

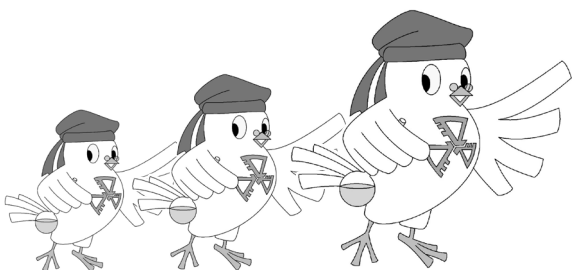
●国際性の育成  
◆理数科二年生  
「科学英語Ⅰ」

二年生の科学英語Ⅰでは、今年度「糸電話」、「酵素」につづき、「pH」を研究テーマに設定して授業に取り組みました。授業では、「pH」について英語で基礎知識の確認を行い、予備実験、実験計画、実験、発表資料の作成、発表のすべてを英語で行いました。「pH」については、酸や塩基の復習をし、pH試験紙を用いて「pH」を読み取る予備実験を行い、計画作り実験へと進めました。果物、炭酸飲料水、アントシアニン系色素をもつ紫キャベツなどの野菜の「pH」について班で協力して調べました。この研究テーマでは酸・塩基についての理解を深めてほしいところですが、班によっては酸化・還元の内容

も重なっており、注意が必要でした。発表では、ALTのエマ先生や英語の担当教員に事前にチェックしてもらった原稿をもとに、生徒たちは緊張しながらも発表することができました。



pHの実験の様子



## 二年生 修学旅行体験記

### 初めて尽くしの修学旅行

二年生 H 中平健太郎

僕たち二年生は一月三十一日(火)〜二月四日(土)の期間で修学旅行に行ってきた。僕にとって今回の修学旅行は初物づくしでした。初飛行機に、初東京、初新潟に初スキーと、すること全てに「初」がつきそうでした。

一日目の移動では、トンネルを一つ越えると今まで見てきた世界とは異なる一面真っ白な雪景色など、窓の外の景色に圧倒されました。バスガイドさんがたくさんさんの豆知識教えてくださり、どれも面白かったです。

二日目から四日目はスキー研修でした。初めてのスキーで最初はできるかどうか不安だったけれど、次第にできるようになり、滑れるようになった時は嬉しかったし楽しかったです。スキー研修が終わった後の自由時間では、クラスのみんなで遊んだり写真を撮ったりと思い出をたくさん作りました。

最終日は東京観光でした。浅草では「振りくじ」という普段とはやり方の異なるおみくじをしました。やってみると大吉が出ていい思い出になりました。お台場では買い物をしたりご飯を

食べたりと、とても充実した時間を過ごせました。あつという間に感じたけれど、クラスのみんなと協力して過ごしたことで仲が更に深まり、良い思い出ができた修学旅行でした。

### 特別な五日間の旅

二年生 H 石元 萌愛

四泊五日の修学旅行は、本当にあつという間に過ぎていきました。

まず、飛行機とバスを乗り継ぎ、新潟に向かいました。十一キロメートルと、日本二位の長さを誇る関越トンネルを抜けた瞬間、一面が銀世界に変わりました。皆が雪景色に目を奪われ、非日常な光景にワクワクしていました。

スキー研修では十名程度の班に分かれて、インストラクターさんの指導の下、スキーを楽しみました。慣れないスキー板や靴は重く、思うように動かせないことに苦労し、何度も転んでしまいました。最初はリフトに乗ることも怖くて不安に感じていましたが、山頂の方まで行くと雪化粧をまとう新潟の街を、澄み切った青空と太陽が照りつけ、ダイヤモンドのように輝いている光景を見ることができ、恐怖心がやわらぎました。美しい景色を存分に味わいながらスキーを楽しむこと

ができました。東京のホテルからはきれいなスカイツリーを一望でき、ライトアップされた美しい街に心が躍りました。浅草では、浅草寺と浅草神社で参拝をしたり、学力向上を願ってお守りを買ったり、「凶」の確率が一番高いと言われているおみくじを引いたりしました。おみくじでは大吉を引くことができたので嬉しかったです。お台場では、トリックアート迷宮館で不思議な写真を撮ったり、お化け屋敷に行ったりしました。修学旅行を通じて貴重な体験をしたことで、同じクラスのひととの仲が深まっただけでなく、他のクラスの人とも仲良くなることができました。私たちが修学旅行を楽しめるよう尽力してくださった皆様、本当ありがとうございます。





### 一年生 修学旅行の記録

一学年主任 三谷 洋子  
 一年生は、当初の予定通り二月七日(火)～十一日(土)の四泊五日で、長野と東京へ修学旅行に行ってきました。一日目の高知龍馬空港では、初めて飛行機に乗る人が多く、離陸時に思わず歓声が上がりました。  
 二日目から四日目までは、スキーを体験しました。初めてのスキーに最初は浮かない表情でしたが、すぐに慣れ、斜面を滑りながら余裕で笑顔を向けてくれるようになりました。  
 四日目、雪が降る中、最後のスキーへ意気揚々と出

かけていきましたが、関東の大雪予報による交通状況悪化への懸念から、予定より早く東京へ出発しました。初めは落ち込むことが多かったスキーを楽しめるようになったことは、大きな自信にもなりました。  
 最終日、東京の浅草とお台場での自由行動では、心から楽しそうな表情で友人と買い物を楽しむ姿が見られました。コロナ禍での実施の決定につきましては、保護者等の皆さまのご理解、ご協力に心から感謝申し上げます。この貴重な経験を、今後の学校生活に活かして欲しいと願っています。

## 三年間皆勤

- |  |   |
|--|---|
| 3-1 H<br>佐藤 聖人<br>矢野 ふみ  | 北村 謙二<br>嶋岡 輝<br>竹崎 徹<br>常石 藍花<br>西岡 斗志也<br>原山 そら真<br>弘 瀬 蒼 真       |
| 3-2 H<br>有田 和加<br>大山 和凜<br>川村 凜  | 3-5 H<br>岡崎 史佳<br>北村 俊介<br>山本 紗葵<br>山本 城大                           |
| 3-3 H<br>伊藤 愛唯<br>円山 美杜<br>徳弘 千記<br>永野 妃奈<br>橋田 侑美<br>福本 紗也<br>松浦 杏佳<br>宮崎 春美<br>山崎 美咲 | 3-7 H<br>片岡 留空<br>小松 暉<br>中平 央<br>西藤 皓察<br>藤本 宏祐<br>藤本 琉生<br>藤本 小 雪 |
| 3-4 H<br>池上 葵<br>伊藤 陽菜<br>江大 海<br>大智 生<br>柏井 鴻輝<br>加納 希実<br>河崎 翔大                      |   |

## 三年間精勤

- |  |   |
|--|---|
| 3-1 H<br>畑山 心来   | 3-5 H<br>齊藤 愛佳<br>徳弘 奈瑚<br>中山 莉嘉<br>中西 桃八<br>濱田 勇勝<br>藤川 幸幸 |
| 3-2 H<br>中村 郁美<br>藤松 柚香  | 3-6 H<br>井上 桜雅<br>近藤 聖倅<br>平田 拓也<br>福井 乃里巴                  |
| 3-3 H<br>市川 結愛<br>小坂 昇大<br>澤田 晃汰<br>松本 楓太                                      | 3-7 H<br>井上 拓海<br>弘田 雅人                                     |
| 3-4 H<br>小笠原 大河<br>北岡 響希<br>高村 啓太郎<br>田松 泰羅<br>原中 豪<br>弘明 光美<br>明神 和里<br>明神 花馬 |   |

皆勤賞は3年間、無遅刻・無欠席・無欠課の生徒を、精勤賞は3年間無欠席で、遅刻・早退・欠課数が合計3回までの生徒を対象としています。おめでとうございます。  
 (令和5年2月25日現在)

### 令和4年度 学校評価アンケートについて

高知小津高等学校長

本校では、開かれた学校づくりの一環として「学校評価アンケート」を実施しています。本年度も昨年度と同様に、生徒、保護者等、教職員、小津会等を対象として12月に実施しました。アンケートの実施方法については、本年度から、Google Formsを利用した回答としました。多くの方々にアンケートに回答していただき感謝申し上げます。

本年度も新型コロナウイルス感染症への対応のため、いくつかの学校行事等での制限はありましたが、学校の取組について例年同様に概ね肯定的な評価を得られていると考えます。評価のあまり高くなかった項目やご指摘いただいた事項につきましては、改善の手立てを講じながら、本校のさらなる充実・発展に向けて取り組んでまいります。

本調査にご協力いただきました皆様に心から厚くお礼申し上げますとともに、今後とも本校の発展のためご支援くださいますようお願いいたします。

### 学校評価アンケート（生徒・保護者等・教職員）集計と分析

回答は、各設問ごとに次の1から5のいずれかを選ぶ方式です。「1」「2」を肯定的な評価と考え、主として肯定的な評価について分析しました。新型コロナウイルス感染症への対応で、体育祭の参観を制限するなど、保護者等の方に学校に来ていただく機会が少なかったためか、昨年度同様、保護者等の回答で無回答（分からない）が例年と比べて大幅に多くなっています。

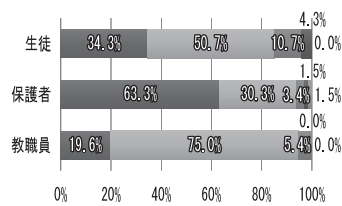
1：そう思う 2：ややそう思う 3：あまりそう思わない 4：そう思わない 5：分からない（保護者等のみ）

調査対象	生徒	819名のうち	740名回収	(回収率 90.4%)
	保護者等	819名のうち	409名回収	(回収率 49.9%)
	教職員	67名のうち	56名回収	(回収率 83.6%)

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 無回答

(1) 本校に入学して良かったと思っていますか。  
(保) お子様を入学させて良かったと思いますか。  
(教) 生徒は本校に入学して良かったと感じていると思いますか。

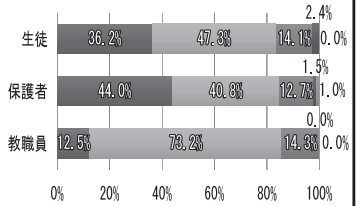
生徒85.0%(昨年84%)、保護者等93.6%(昨年94%)、教職員94.6%(昨年94%)が良かったと感じている。生徒・保護者等・教職員の肯定的評価はほぼ昨年と同程度となっている。今後も、100%の満足度に向けて取り組んでいく。



(2) あなたは、目標を持って学校生活を送っていますか。

生徒83.5%(昨年78%)、保護者等84.8%(昨年81%)、教職員85.7%(昨年80%)が肯定的に回答している。

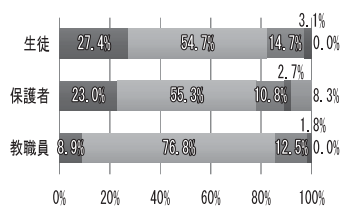
生徒・保護者等・教職員それぞれの肯定的評価は、すべて昨年と比べて上がっている。生徒は、1年生83.2%、2年生83.5%、3年生83.9%である。例年の傾向からも、学年が進むにつれて、より目標を明確にもって取り組んでいることがわかる。充実した学校生活を送るためにも、より早い段階で目標設定を行うことが必要である。



(3) あなたは、本校の授業に満足していますか。

生徒82.1%(昨年82%)、保護者等78.3%(昨年81%)、教職員85.7%(昨年79%)が肯定的に回答している。本年度は休校期間等もなく、授業進捗等は例年通りであり、教職員の肯定的評価は上がっているものの、生徒は昨年度と同程度、保護者等は若干下がっている。

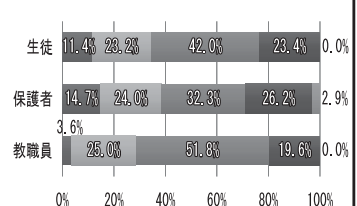
生徒の学習状況を把握しながら授業の工夫・改善に努め、ICTなども活用して、生徒の主体的な学びを育てる授業を目指し取り組んでいく必要がある。



(4) 予習や復習などの家庭学習の取組が達成できていますか。

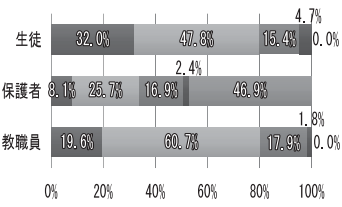
1年：平日2時間、休日3時間 / 2年：平日2・3時間、休日4時間  
3年：平日4時間以上、休日6時間以上

生徒34.6%(昨年30%)、保護者等38.7%(昨年38%)、教職員28.6%(昨年24%)となっている。1年生は23.4%、2年生は27.3%、3年生は56.8%が肯定的な回答をしている。学年が進むにつれて上昇しているが、早い段階からの習慣付けが大切である。また、基本的な生活習慣を身に付け、学校の活動(授業、部活動、学校行事等)に生徒が主体的に取り組んでいくことが重要である。



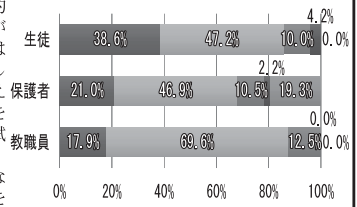
(5) 授業改善に向けて、教材や教え方にさまざまな工夫をしている先生が多いと思いますか。  
(教) あなたは授業改善に向けて、教材や教え方にさまざまな工夫をしていますか。

生徒79.8%(昨年83%)、保護者等33.8%(昨年52%)、教職員80.3%(昨年86%)が肯定的に評価している。保護者等の無回答が46.9%と高い。生徒・教職員はやや下がり、保護者等は大きく下がっている。昨年度、全てのホーム教室にプロジェクターとスクリーンが設置され、生徒用タブレットも全生徒分導入され、活用も進んできている。来年度からも、これらのICT機器を活用しての授業改善をさらに進めていく必要がある。



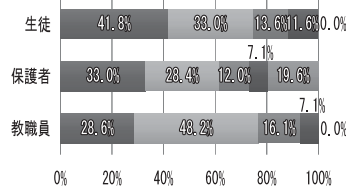
(6) 教育課程(授業)は、あなたの進路に対応する選択ができるように組まれていますか。

生徒85.8%(昨年83%)、保護者等67.9%(昨年72%)、教職員87.5%(昨年80%)が肯定的に評価している。保護者等の無回答が19.3%である。1年生は89.8%、2年生は89.6%、3年生は76.6%が肯定的な回答をしている。普通科では、コース選択を考え、1次次に、進路学習や個人面談を重ねていく必要がある。大学入試等の進路情報を、早い段階から丁寧に生徒・保護者等に提供していくことで、適切な科目選択となるように努め、より高みを目指した進路決定へ取り組んでいく。



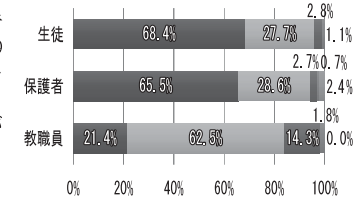
(7) 本校が定期的（月1回）に実施している服装頭髪指導は適切であると思いますか。

生徒74.8%（昨年82%）、保護者等61.4%（昨年76%）、教職員76.8%（昨年76%）が肯定的に評価している。生徒・保護者等ともに減少し、保護者等の無回答も19.6%と多い。今後も、学校として全教員で統一した指導を行い、定期的な指導を継続していく。



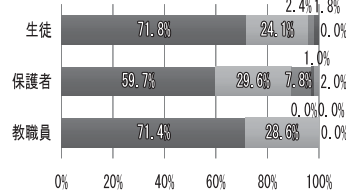
(8) 本校は遅刻指導、挨拶指導など基本的な生活習慣の確立に力を入れています。校則を守り、規則正しい高校生活を送っていますか。

生徒96.1%（昨年94%）、保護者等94.1%（昨年94%）、教職員83.9%（昨年86%）が肯定的な評価をしている。生徒・保護者等ともに高い評価を得ている。生徒が自覚ある高校生活を送っているということでもあり、今後も、指導の充実と徹底を行っていく。



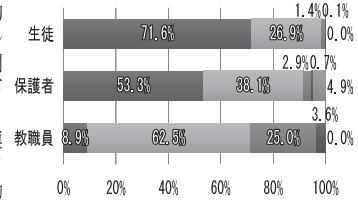
(9) 学校行事（ホームマッチ、文化祭、体育祭など）に、意欲をもって取り組んでいますか。

生徒95.9%（昨年93%）、保護者等89.3%（昨年88%）、教職員100%（昨年97%）が肯定的な評価をしている。真摯に学校行事へ取り組む生徒の姿勢や、積極的に学校行事へ参加する生徒の意欲の高さが表れている。保護者等には、体育祭の観覧者の制限等もあり、生徒の頑張る姿を十分に目に出来なかったのが残念であった。今後も、学校行事の内容の充実を図り、工夫改善に努めていきたい。



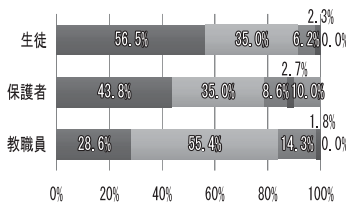
(10) 本校は交通マナーの向上に向け、交通安全指導に力を入れています。交通マナーを十分守っていますか。

生徒98.5%（昨年98%）、保護者等91.4%（昨年94%）、教職員71.4%（昨年64%）が肯定的な評価をしている。大部分の生徒は交通ルールを遵守しているが、通学時の自転車関連の事故が多いことが、教職員の評価が下がる原因となっていると思われる。今後も、警察署や交通安全協会、地域の方々とも連携し、交通安全教室や生徒会役員・交通自治委員を中心とした交通安全に関する活動を継続し、さらなる充実を図っていく。



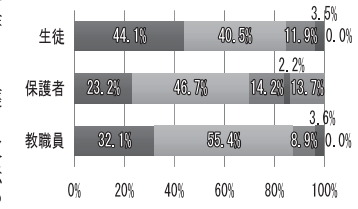
(11) 本校は、適切に部活動の指導を行っていますか。

生徒91.5%（昨年89%）、保護者等78.8%（昨年81%）、教職員84.0%（昨年83%）が肯定的な評価をしている。昨年度同様、新型コロナウイルス感染症対応のため、部活動の練習時間が制限されたり、感染判明により大会への参加を見送るなど、生徒・教員ともにやる気を持続するのが難しかった。その中でも、生徒の肯定的な評価は、例年とほぼ同様であり、おおむね適切な指導が行われていることが窺われる。今後も感染症やケガ等への対策も徹底し、文武両道の質の高い教育を目指し、指導の充実を図っていく。



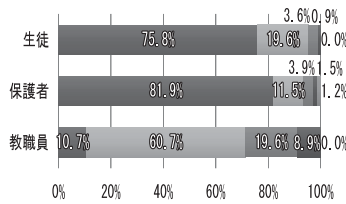
(12) 本校は、生徒一人ひとりに適したきめ細かい進路指導を行っていますか。

生徒84.6%（昨年87%）、保護者等69.9%（昨年72%）、教職員87.5%（昨年87%）が肯定的な評価をしている。保護者等の無回答が13.7%である。生徒・教職員の評価に比べ、保護者等の肯定的な評価が少し低かった。今後も、最新の進路情報を収集し、さらにきめ細かい情報の伝達を行うとともに、指導方法についても工夫・改善をしていく。



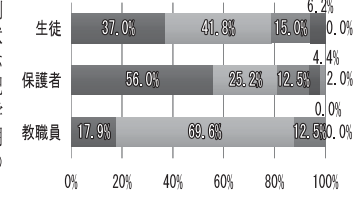
(13) 本校の進学補習（土曜補習）を、毎回受講していますか。

生徒95.4%（昨年95%）、保護者等93.4%（昨年95%）、教職員71.4%（昨年83%）が肯定的な評価をしている。生徒の学習への意欲は高く、保護者等の関心も高いと思われる。今後も、生徒の進路実現に向けて、授業・補習の充実と課題に対する取組の充実を図っていく。



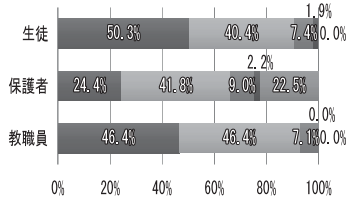
(14) 本校から配付している連絡文書、案内文書、学校通信「若鳩」はご家庭に届いていますか。

生徒78.8%（昨年80%）、保護者等81.2%（昨年79%）、教職員87.5%（昨年80%）が肯定的な評価をしている。生徒や保護者等の回答から、約2割の家庭に連絡文書等が十分に届いていない現状が確認できる。保護者等あての文書は、本校ホームページに掲載したり、「すぐる」でも配信したりしている。また、ホームページには学校での活動についても掲載しているので、定期的にご覧いただきたい。文書は、学校と家庭の情報共有を図るうえで大切な手段であるため、重要なものという意識付けを徹底していく。



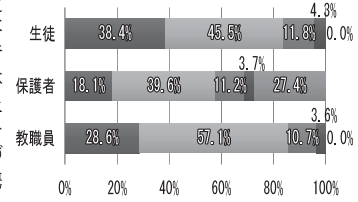
(15) 本校は、進路指導に必要な進路教材・資料の提供は十分であると思いますか。

生徒90.7%（昨年90%）、保護者等66.2%（昨年72%）、教職員92.8%（昨年95%）が肯定的な評価をしている。保護者等の無回答が22.5%である。生徒からは一定の評価をいただいているが、保護者等の肯定的な評価が少し低く、無回答も多い。大学入学共通テストや各大学の入試については変更が多くあり、不安を感じる保護者等が増えていると思われる。生徒・保護者等にとって進路決定の参考となるよう、さらなる情報提供の工夫をしていく。

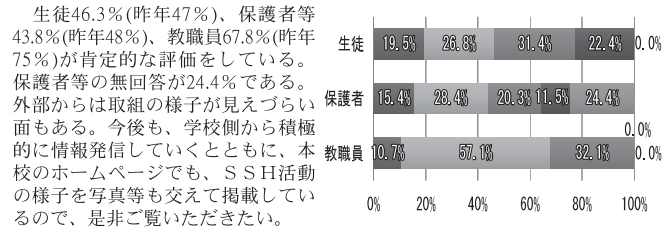


(16) 本校は、生徒の悩みについて、相談できる体制づくりができていますか。

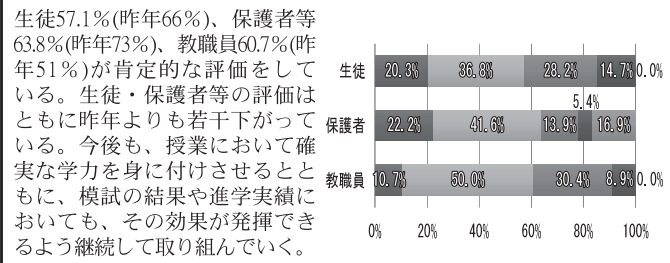
生徒93.9%（昨年86%）、保護者等57.7%（昨年62%）、教職員85.7%（昨年95%）が肯定的な評価をしている。保護者等の無回答が27.4%である。今後も、生徒・保護者等に向けて、本校における相談・支援体制を周知していくとともに、今まで以上にスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの相談しやすい体制づくりと、校内や外部の関係機関との連携を密にしていくことが必要である。



(17) 本校は、スーパーサイエンスハイスクール（SSH）の指定を受け、公開授業や課題研究発表、各種体験ゼミを実施していますが、積極的に参加していますか。

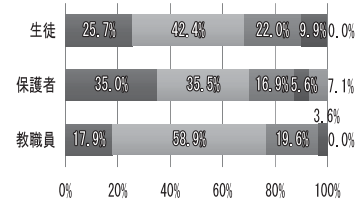


(18) 本校は、50分7限授業を行っています、学力面で効果を上げていると思いますか。



(19) 地域や保護者等の皆様にとって来校しやすい学校だと思いますか。

生徒68.1%(昨年74%)、保護者等70.5%(昨年80%)、教職員76.8%(昨年80%)が肯定的な評価をしている。生徒・保護者等ともに昨年度と比べると少し低い。新型コロナウイルス感染防止のため、外部からの校内への立入を制限したためと考える。地域の方々や保護者等の期待に応えられるよう、環境美化も含め進学実績を上げるとともに、文武両道の質の高い教育を目指して、学校全体で取り組んでいく。



小津会の皆様のアンケートの結果 16名のうち 11名回収（回収率 68.8%）

小津高校に期待する事項について、11項目の中からの選択をお願いしました。集計結果は下のとおりとなります。「進学・就職希望に応える教育をする」、「教職員の資質・指導力を向上させる」、「社会のルールや決まりの指導に力を入れる」、「学校行事や部活動を充実させる」、「不登校、中途退学対策に力を入れる」の項目は、順位が入れ替わっていますが、昨年度と同じ項目が上位に挙げられています。また、今年度は「分かりやすい授業をする」が挙げられています。「自主自律の校風を大切に!」、「なぜ? どうして? の原理・原因を自ら見つけ、行動できる人間教育。」、「先生方には大変ご足労をおかけしますが、生徒たちの進路実現に向けてのご指導をお願いします。」といったご意見がありました。今後もチーム小津として、保護者等や地域の方々の期待に応えるべく、一層の取組の充実を図り、教員の指導力の向上や総合力の高い学校を目指すとともに、社会に通用する人材の育成に尽力したいと考えています。

これからの小津高校に期待すること（3つ選択で上位5位まで）

- 1位 進学・就職希望に応える教育をする (昨年2位) 7名(63.6%)
- 2位 教職員の資質・指導力を向上させる (昨年1位) 5名(45.5%)
- 3位 分かりやすい授業をする 4名(36.4%)
- 3位 社会のルールや決まりの指導に力を入れる (昨年4位) 4名(36.4%)
- 5位 学校行事や部活動を充実させる (昨年2位) 3名(27.3%)
- 5位 不登校、中途退学対策に力を入れる (昨年5位) 3名(27.3%)

第68回高知県青少年読書感想文コンクール審査結果 (高知県高等学校学校図書館協議会)

高德	古山	中小	北山	山崎	岡松	山崎	湯浅	坂本	大川
橋原	澤山	山島	村崎	菜葉	島本	菜々	蒼花	環奈	ちひろ
亜里	朔也	朱夏	由瑞	梨暖	菜都	菜佳	花彩	梨奈	ちひろ
紗					衣	衣	梨	奈	ちひろ
(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)
(7)	(6)	(5)	(3)	(3)	(7)	(6)	(4)	(3)	(3)

入選	中原	優良	寺村	優秀
	野有		有加	
	瑚春			
	(1)		(1)	
	(6)		(5)	

本年度は優秀賞一名、優良賞二名、入選十三名という結果となりました。また、「学校優良賞」も受賞しました。

令和4年度 大学・短大および専門学校等・就職現役生 合格者数 令和5年2月16日現在

Table with 2 columns: 国公立大学, 合格数. Lists various national/public universities and their admission counts.

Table with 2 columns: 私立大学, 合格数. Lists various private universities and their admission counts.

Table with 2 columns: 私立大学, 合格数. Lists various private universities and their admission counts.

Table with 2 columns: 専門学校等, 合格数. Lists various vocational schools and their admission counts.

Table with 2 columns: 就職, 合格数. Lists various job positions and their admission counts.

Table with 2 columns: 短期大学, 合格数. Lists various short-term universities and their admission counts.

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。卒業生の保護者等の方々にもお喜び申し上げます。入学してすぐに休校となつてしまい、制限の多い学校生活を過ごすことになりました。そんな辛い時期を乗り越え、卒業することのできた三年生の皆さんは、小津高校で学んだことを生かし、たくましく自分の未来を切り開いていかれるのではないかと思います。今後の健やかな成長とご多幸をお祈りいたします。

今年度は保護者等の方々や三年生の先生方からお祝いのメッセージを寄せていただきました。心のこもった言葉を本当にありがたうございました。

行事予定 section containing a vertical timeline of events: 3月6日(月)・7日(火) 高校入試A日程, 3月17日(金) 終業式, 4月7日(金) 始業式・入学式.